（参考様式２）　社会資本総合整備計画（地域活力基盤創造計画）　事後評価書

平成 26 年 3 月 31 日

計画の名称	17　災害に強い交通ネットワークを構築し、安心・安全な暮らしを支援する道路整備		
計画の期間	平成21年度～平成25年度(5年間)	交付対象	静岡県、藤枝市

計画の目標

市民の安心・安全な暮らしを支援するため、緊急に対策を必要とする箇所の解消（ﾊﾞｲﾊﾟｽ・現道拡幅・歩道整備・舗装改良等）を図り、災害に強い交通ネットワークを構築し、地域の医療拠点である市立総合病院へのアクセスを強化し、重症患者の円滑な病院搬送等を実現する。

計画の成果目標（アウトカム指標）

①周辺地域の日常生活の標準地から総合病院までの整備後の所要時間を15.0％（H25)短縮する。

アウトカム指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H21当初）	中間目標値（H23末）	最終目標値（H25末）	備考
①周辺地域の日常生活の標準地から市立総合病院までの現在と整備後の所要時間の比較より算出する。 市立病院までのアクセス時間短縮率（%）＝（Σ事業前所要時間－Σ事業後所要時間）／Σ事業前所要時間×100	0.0%		15.0%	

全体事業費	合計（A＋B＋C）	4,119 百万円	A	3,984 百万円	B	0 百万円	C	135 百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	3.3%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、国からの指導に基づき、学識経験者を入れた評価委員会を１回開催し,これによりとりまとめた原案をもとに、市民への公表を行う。

事後評価の実施時期

H25年度

公表の方法

評価完了後、市の広報及びホームページに掲載予定

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A　地方道路整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）		事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H21	H22	H23	H24	H25	全体事業費（百万円）	備考
17-A1	街路	一般	静岡県	間接	水守区画整理組合	区画	改築	0.55	水守地区((都)大覚寺藤岡線　他)	区画整理 A=46.0ha	藤枝市	■	■	■	■		1719.202	
17-A2	街路	一般	静岡県	間接	青木区画整理組合	区画	改築	0.55	青木地区((都)青島焼津線　他)	区画整理 A=35.7ha	藤枝市	■	■				213.000	
17-A4	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)志太中央幹線	ﾊﾞｲﾊﾟｽ L=0.88km	藤枝市	■	■				1000.000	
17-A5	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)2地区107号線	現道拡幅 L=0.26km	藤枝市	■					23.000	
17-A6	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(１)本町大東町線	現道拡幅 L=0.21km	藤枝市	■	■	■			45.000	
17-A7	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(１)藤枝駅吉永線	舗装改良 L=1.20km	藤枝市	■	■	■			119.000	
17-A8	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(１)大洲中央線	現道拡幅 L=0.63km	藤枝市	■	■				54.000	
17-A9	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(１)大西町善左衛門線	現道拡幅 L=0.22km	藤枝市	■	■				82.000	
17-A10	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(１)小川青島線	舗装改良 L=0.55km	藤枝市	■					44.000	
17-A11	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)天王町仮宿線	現道拡幅 L=0.12km	藤枝市			■	■	■	208.731	
17-A12	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(２)高田仮宿線	現道拡幅 L=0.14km	藤枝市		■	■		■	26.540	
17-A13	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(１)下当間越後島線	現道拡幅 L=0.23km	藤枝市					■	24.043	
17-A14	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(２)上当間下当間線	現道拡幅 L=0.12km	藤枝市					■	18.517	
17-A15	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)1地区256号線	現道拡幅 L=0.44km	藤枝市			■	■		41.625	
17-A18	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)5地区159号線	現道拡幅 L=0.25km	藤枝市				■		34.775	
17-A19	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	交安	0.55	(１)本町大東町線	交差点改良 L=0.47km	藤枝市		■	■			162.600	
17-A20	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	交安	0.55	(他)2地区140号線	自歩道整備 L=0.63km	藤枝市			■	■		136.000	計画移行(H25～)
17-A21	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)5地区24号線	現道拡幅 L=0.07km	藤枝市				■		2.982	
17-A22	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)1地区86号線	現道拡幅 L=0.16km	藤枝市				■		13.018	
17-A25	道路	一般	藤枝市	直接		市町村道	改築	0.55	(他)1地区239号線	現道拡幅 L=0.04km	藤枝市					■	16.280	
																合計	3,984.313	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容（延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H21	H22	H23	H24	H25	全体事業費（百万円）	備考
合計																0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度） H21	H22	H23	H24	H25	全体事業費（百万円）	備考
17-C1	公共交通	一般	藤枝市	直接		バス購入	0.55	地域交通支援のためのバス購入	中型ノンステップバス1台購入	藤枝市						17.839	
17-C3	施設整備	一般	藤枝市	間接	NTT・中電	引込設備	0.55	岡部中央幹線電線共同溝整備事業	引込設備（対象N=26戸）	藤枝市						8.040	
17-C4	計画･調査	一般	藤枝市	直接		点検・計画	0.55	長寿命化修繕計画	橋梁の点検・計画策定	藤枝市						31.491	
17-C5	道路	一般	藤枝市	直接		改築	0.55	(都)岡部藤枝線	現道拡幅 L=0.15km	藤枝市						75.000	
17-C6	計画･調査	一般	藤枝市	直接		調査	0.55	事業活用調査	事業効果分析調査	藤枝市						2.520	
合計																134.890	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
17-C1	17-A7藤枝駅吉永線の整備後、バス車両（低床）を購入することにより、藤枝市南部に居住する交通弱者の市立総合病院への安全で快適な移動が可能となる。	
17-C3	災害時の緊急輸送路である岡部中央幹線において電線共同溝を整備することにより、通行遮断の要因となる電柱の無電柱化を図り、災害に強い交通ネットワークを構築する。	
17-C4	緊急に対策を必要とする橋梁の解消を図り、災害に強い交通ネットワークを構築するため、橋梁の点検と修繕計画を策定する。	
17-C5	水守地区区画整理(17-A1)地内(都)藤岡平島線と接続するため、右折レーンを設置する道路改良を行い、交通渋滞の緩和を図る。	
17-C6	基幹事業を実施することによる成果等を客観的に検討して、今後のまちづくりのあり方と事業の成果を市民にわかりやすく説明し、次期計画の効率的、効果的な展開を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

その他関連する事業

計画等の名称　**32　暮らしの安全・安心を創出する“ふじのくに”のみちづくり**

事業種別			交付対象		要素となる事業名（事業箇所）		市町村名		全体事業費（百万円）	備考
17-A'20	道路		静岡県		(他)2地区140号線		藤枝市		160.000	計画32へ移行

事業種別		地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考

A'	160百万円	B'	百万円	C'	百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))	3.2%

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	緊急車両の救急搬送時間においては、従前値の短縮という目標は達成できなかった。しかし、事業の進捗により道路環境が改善され、アクセス性が向上したことについては評価できる。計測結果からの判断として目標値に達成するだけの、道路環境の改善・新設等は予定されておらず、１年以内の目標達成の見込みはなしとした。 【その他特記事項】 指標を計測する値として、緊急車両の救急搬送時間を用いたが、従前後において、時間計測時間帯やデータ数が一致しないことが目標達成度に影響した。またアクセス距離短縮率の割に、アクセス時間短縮率の目標値を意欲的な数値に設定したことが、目標達成度に影響した。

Ⅱ定量的指標の達成状況				
指標①（市立病院までのアクセス時間短縮率）	最終目標値	15.00%	総合所見	区画整理事業の推進、現道の拡幅、舗装改良などにより、緊急時の緊急車両の搬送経路として、安全で快適な搬送経路が選択できるようになり、標準地３地点においてアクセス時間は短縮された。 しかし、目標値の達成には至らず、原因の一つとして、実測値として実際に出動した緊急車両の搬送時間を使用したため、事業前と事業後で場所や時間帯等の条件を合わせることができず、同一の交通状況下での比較ができなかったことが影響していると想定されるが、市立病院までのアクセス距離は12.7%短縮されており、今後、サンプル数が増えれば、搬送時間の短縮に繋がってくると考えられる。 その他の原因としては、予算及び他事業との調整により施工時期延伸となった事業を次期計画へ移行し、当初計画していた整備ができなかったことが大きく影響していると想定される。また、平成22年から平成25年にかけて国道1号の交通量増加による走行速度の低下が他調査により明らかになっており、その点も原因の一つとして想定される。 今後、次期計画へ移行した事業の整備を進めることで、アクセス距離が更に短縮され、特に国道１号のバイパス路線として計画していた三輪立花線の整備完了後には、国道１号仮宿交差点の渋滞緩和も図られることから、搬送時間の短縮に繋がると考えられる。
	最終実績値	3.50%		
その他の数値指標①（市立病院までのアクセス距離短縮率）	従前値	0.00%	総合所見	区画整理事業の推進、現道の拡幅、舗装改良などにより、緊急時の緊急車両の搬送経路として、安全で快適な搬送経路が短距離で選択できるようになり、アクセス距離が短縮された。 【今後の活用】 計画的な道路整備等をより一層行っていくことで、災害に強い交通ネットワーク構築に取り組み市民の安心・安全な暮らしの支援を進めていく。
	最終実績値	12.70%		
その他の数値指標②（車道拡幅率）	従前値	0.00%	総合所見	事業の推進により、交通量が増加している箇所や、交通渋滞が発生している箇所への重点的な車道拡幅整備が進んだ。このことにより自動車のアクセス性（移動円滑性）、歩行者の安全性などが向上し、市全域における交通ネットワークが強化された。 【今後の活用】 引き続き、車両の通行しやすい道路環境を整備することで、災害に強い交通ネットワークを構築していく。
	最終実績値	52.50%		
その他の数値指標①（歩道整備率）	従前値	0.00%	総合所見	事業の推進により、歩道の整備が進み、歩行空間の快適性の向上や、歩行者の安全性が確保され、バリアフリー歩行空間ネットワークが強化された。 【今後の活用】 引き続き、歩行者空間を整備することで、歩車分離を促し、歩行者、車両相互にとって快適かつ安心・安全な道路環境を創出していく。
	最終実績値	61.20%		

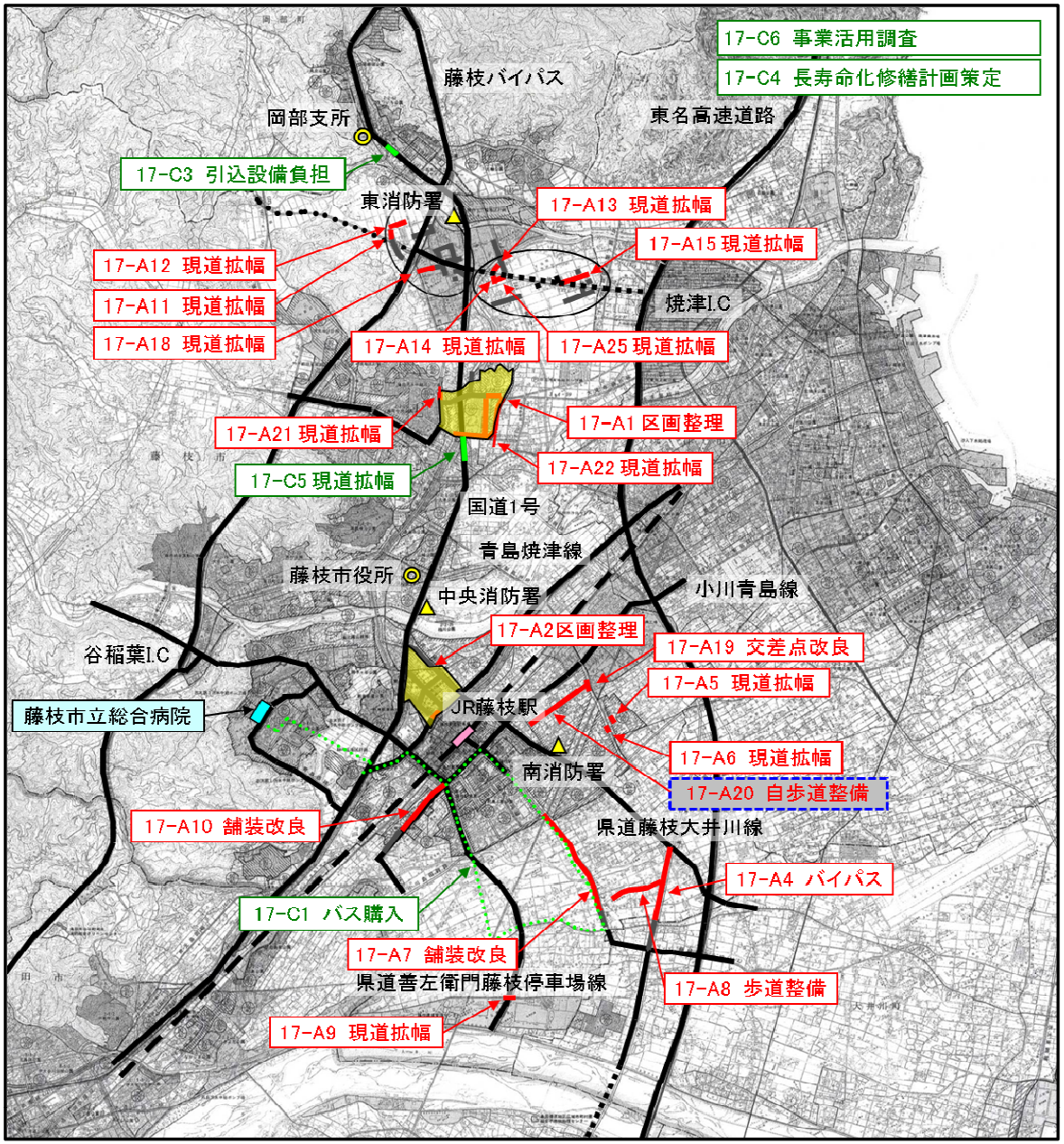
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）	事業に取り組んだことにより、道路幅員の拡幅、舗装の整備、歩道の整備等が進み、道路環境が向上したことにより、市民生活における安心・安全性および快適性が向上した。

３．特記事項（今後の方針等）

遅れの生じている事業の進捗に、鋭意に取り組むと同時に、計画的な道路整備等をより一層行っていくことで、市立総合病院までのアクセス性を向上させ、災害に強い交通ネットワーク構築に取り組み市民の安心・安全な暮らしの支援を進めていく。

（参考様式３）　　社会資本総合整備計画（地域活力基盤創造計画）

計画の名称	17　災害に強い交通ネットワークを構築し、安心・安全な暮らしを支援する道路整備		
計画の期間	平成21年度　～　平成25年度　（5年間）	交付対象	静岡県、藤枝市



地方道路整備事業	19事業
効果促進事業	5事業
その他関連する事業	1事業
	計25事業